

白山の火山活動解説資料（平成 25 年 1 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

一時的な地震の増加が見られましたが、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

白峰（白山山頂の西 12km）に設置してある遠望カメラによる観測では、視界不良のため不明の期間がありますが、その他の期間は山頂部に噴気は認められませんでした。

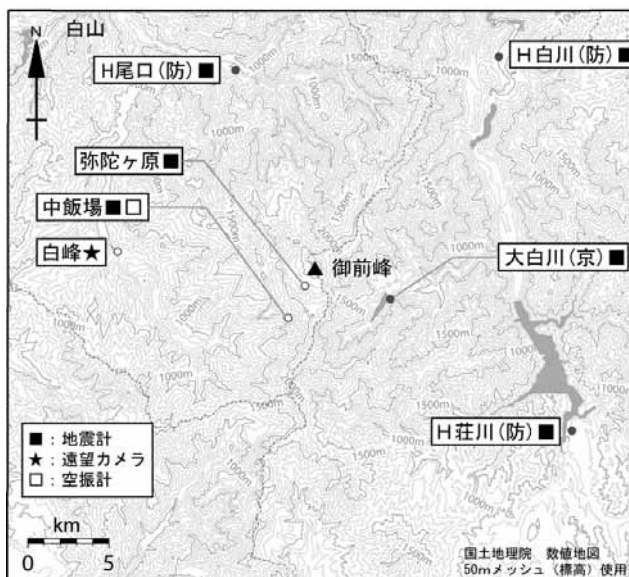
・地震や微動の発生状況（図 3、図 4、図 5）

31 日 20 時 42 分頃に白山北側の深さ 3 km を震源とするマグニチュード（M）3.3¹⁾の地震が発生し、岐阜県高山市荘川町と岐阜県飛騨市河合町で震度 1 を観測しました。この地震の後に、余震と思われる地震が一時的に増加しましたが、22 時頃より徐々に減少しました。

また、2 月 1 日 15 時 19 分頃（期間外）に、前日（31 日）と同様の白山北側の深さ 3 km を震源とする M3.4 の地震が発生し、石川県白山市白峰、富山県南砺市下梨、南砺市上平細島、岐阜県高山市荘川町、白川村鳩谷、飛騨市河合町元田、福井県大野市朝日で震度 1 を観測しました。その後、余震と思われる地震が一時的に増加しましたが、17 時頃より徐々に減少しています。低周波地震や火山性微動は観測されていません。

白山では、これまでに浅部を震源とする地震が一時的に多発することがあり、最近では、2012 年 10 月 27 日 21 時から 28 日 02 時頃にかけて同様の現象が発生しています。また、2005 年 10 月 3 日には、石川県白山市白峰で震度 2 を観測する地震（M4.5）が発生し、その後地震活動が一時的に活発化したことがあります。

1) マグニチュード（M）の値は暫定値で、後日変更することがあります。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（京）：京都大学防災研究所

図 1 白山 観測点配置



図 2 白山 山頂部の状況
（1 月 27 日 白峰遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 2 月分）は平成 25 年 3 月 8 日に発表する予定です。

この記号の資料は気象庁のほか、国土交通省金沢河川国道事務所、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

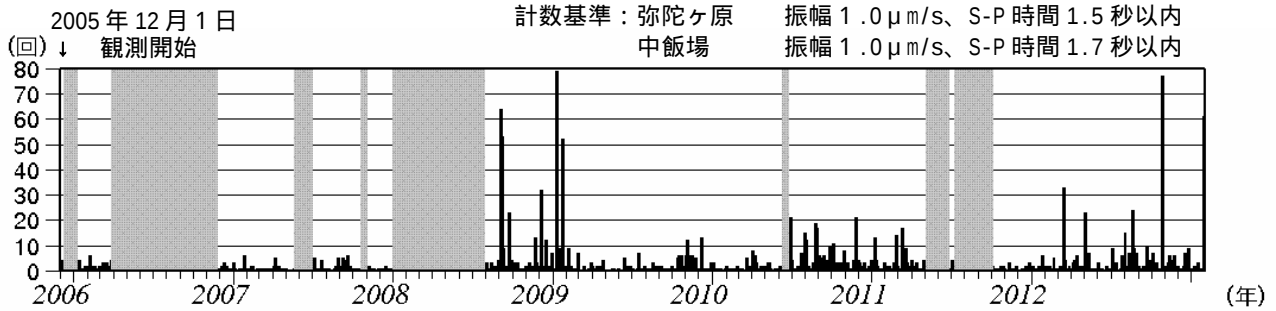
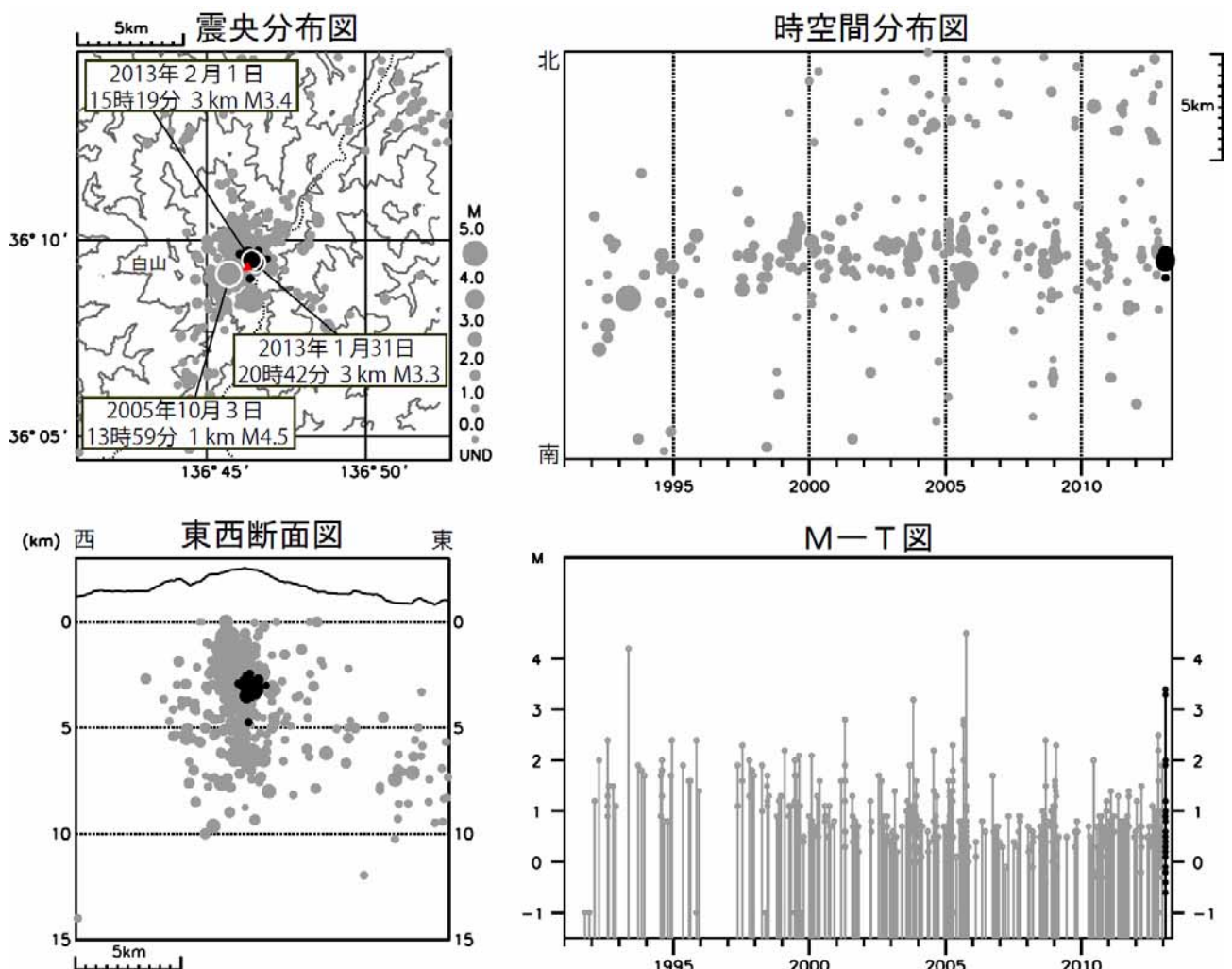


図 3 白山 日別地震回数（2005 年 12 月～2013 年 1 月）

- ・ 2011 年 9 月 30 日までは弥陀ヶ原観測点による観測
- ・ 2011 年 10 月 1 日からは、中飯場観測点による観測
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測期間



● : 1991 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日 ● : 2013 年 1 月 1 日～2 月 3 日

図 4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（1991 年 1 月 1 日～2013 年 2 月 3 日）

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素の一部は暫定値で、後日変更することがあります。

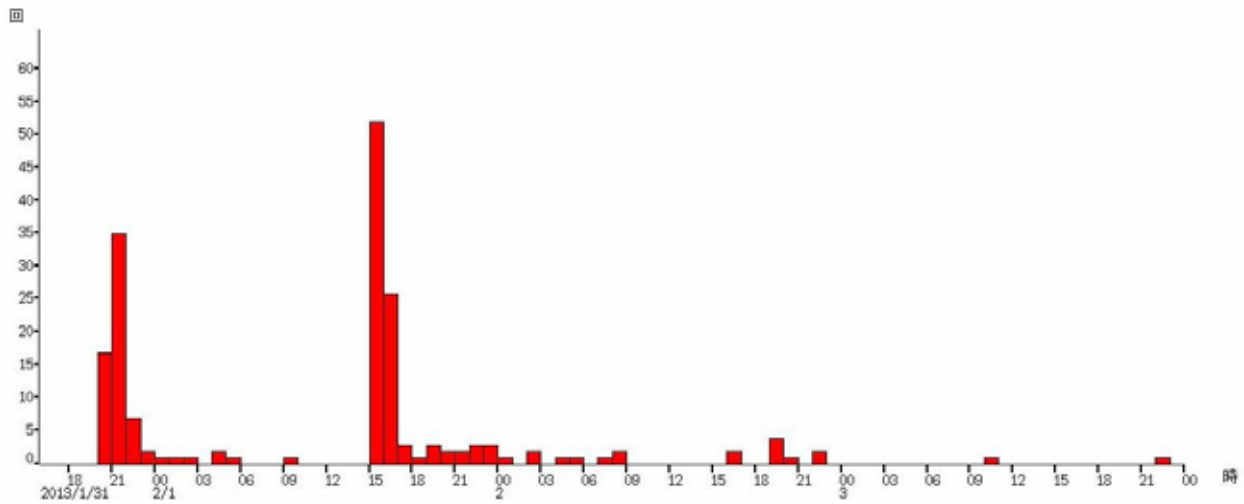


図5 白山 時間別地震回数 2013年1月31日～2月3日24時
 31日20時42分頃にM3.3の地震が、2月1日15時19分頃にM3.4の地震が発生しました。
 その後、余震と思われる地震が一時的に増加しましたが、徐々に減少しています。